

中山順次サクソフォンリサイタル

展覧会の絵

Pictures at an Exhibition

Program

R.プラネル/プレリュードとサルタレロ

J.リュエフ/ソナタ

P.サンカン/ラメントとロンド

M.ムソルグスキー/展覧会の絵

編曲:長生淳 構成・台本:服部真理子 語り:にしじまゆうじ

サクソフォン:中山順次

ピアノ:服部真理子

語り手:にしじまゆうじ

11/27
2025 木

Open 18:30 Start 19:00

一般 ¥3,000 学生 ¥1,500
(当日券¥500増)

電気文化会館ザ・コンサートホール(名古屋市中区栄2丁目2-5)

[お問合せ] 中山順次 ☎090-4254-9304
junjinakayama0125@hotmail.com

□後援/名古屋芸術大学 芸術学部芸術学科 音楽領域
□協賛/(株)ビュッフェ・クランボン・ジャパン

Access Map



[アクセス]
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅4番出口より徒歩2分

Saxophone 中山 順次 Junji Nakayama

岐阜市出身。岐阜工業高校吹奏楽部にてサクソフォンを始める。1998年名古屋芸術大学入学。2003年フランス リラ市立フォーレ音楽院入学。2004年同音楽院を全員一致での1等賞を得て卒業後帰国。2005年真鍋記念館クラザールにてデビューリサイタルを開催。2009年(財)岐阜市公共ホール管理財団との共同事業による『フランスの風景』を開催。2012年名古屋サクソフォン四重奏団フランスパリにてリサイタルを開催。現在はクレセントカンパニー、Sax quartet METEOR、ユニータ・デラ・サクソ、Quartet 颯のメンバーとして活動中。

サクソフォンを三日月孝、櫻井牧男、小串俊寿、ルマリエ千春、F.モレティ各氏に師事。

名古屋芸術大学非常勤講師、中部楽器技術専門学校非常勤講師、ビュッフェ・クランボン・ジャパン契約講師

Piano 服部 真理子 Mariko Hattori

ピアノを吉田よし、辛島輝治両氏に師事し、東京芸術大学附属音楽高校を経て同大学を卒業する。同年渡仏。G.ムニエ女史に師事。1981年エビナル国際コンクールに入賞。ソロ、室内楽の分野で数々のコンサートを各地で行う。1984年よりオペラシアター「こんにやく座」との共同作業を開始し、数々の初演に参加する。

サクソフォンニストとの共演も多く、近年はファブリス・モレティとフランス、日本で定期的にコンサートを開催している。

輸入楽譜専門店カマクラムジカ代表。



語り手 にしじまちゅうじ Chuji Nishijima

1948年名古屋生まれ。生来のうた好き。1980年、初めてオペラシアターこんにやく座(オペラ「白雲の輪」名古屋公演)と出会い、ことばの明瞭な歌唱とその演劇性に感動、ファンとなる。2004年夏、こんにやく座本公演(オペラ「まげもん-夏の陣-」台本・演出/鄭義信、作曲/萩京子、ピアノ/服部真理子)の一般公募に応募し「長屋の人々」で出演。これを機に「名古屋でこんにやく座を楽しむ会」世話人としてこんにやく座名古屋公演の招致活動(2017~2022で6公演)を続けている。

現在「ソングをうたう会」世話人代表。混声合唱の集い「Sing&Talk」参加。「名古屋男声合唱団」所属。



Alex Terrier © Papa Molina

BUFFET CRAMPON PARIS
200 ans
SINCE 1825
TRADITION & INNOVATION

Senzo

時代を超えて輝く結晶。

日本語の「先祖」にその名を由来するサクソフォン。＜ビュッフェ・クランボン＞の音楽に対する卓越した伝統と、最も現代的な感覚が融合して生まれました。艶やかなピロードを思わせる低音域から輝かしく印象的な高音域まで、「Senzo」は無限の表現力を持ち、いかなるスタイルにおいても奏者のイメージを具現化します。フランスの伝統ある楽器製造のノウハウと現代の音楽的要求に応えうる最先端のテクノロジーが見事に反映された、光り輝く結晶がこの「センゾ」なのです。

ALTO SAXOPHONE

■仕上げ／カタログNo.

真鍮製 BC2525-8-0J
銅製／銅めっき BC2525-7B-0J
銅製／銀めっき BC2525-2-0J
銅製／金めっき BC2525-4-0J

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランボン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17

HP https://jp.buffet-crampon.com/bc_JP_jp/

